

製品名:

ファーミン M2-2095

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称: ファーミン M2-2095

製品コード: B0002148

製造業者/輸入業者/販売業者情報

国内製造事業者等の情報

会社名: 花王株式会社
住所: (〒131-8501) 東京都墨田区文花 2-1-3
電話番号: 03-5630-7601
FAX番号: 03-5630-7964
担当者(作成者): ケミカル事業部門
電子メールアドレス: chemical@kao.co.jp

緊急連絡電話番号: 03-5630-7601

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類:

健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分 4
皮膚腐食性/刺激性	区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1

環境有害性

水生環境有害性 短期(急性)	区分 1
----------------	------

GHS ラベル要素

絵表示:



注意喚起語:	危険
危険有害性情報:	飲み込むと有害。 皮膚刺激。 重篤な眼の損傷。 水生生物に非常に強い毒性。
安全対策:	取扱い後はよく洗うこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。環境への放出を避けること。保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。
応急措置:	飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。口をすすぐこと。眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。皮膚（または髪）に付着した場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと。即座に2%の酢酸水で充分洗浄し、ぬるぬるする感じがなくなるまで多量の水で洗浄する。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。皮膚刺激が生じた場合：医師の診察／手当てを受けること。漏出物を回収すること。
保管:	-
廃棄:	内容物／容器を適切な焼却炉で焼却処理するか、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。

未知の毒性 - 健康

急性毒性（経皮）	100 %
急性毒性、吸入、粉塵またはミスト	100 %

未知の毒性 - 環境

水生環境有害性 短期（急性）	0 %
水生環境有害性 長期（慢性）	100 %

3. 組成及び成分情報**化学物質**

化学名又は一般名	CAS番号	ISHL	ENCS	含有率のパーセント（%）
N, N-ジラウリル-N-メチルアミン	2915-90-4	(2)-176	(2)-176	

4. 応急措置**必要な応急処置**

吸入した場合:	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚に付着した場合:	皮膚刺激が生じた場合、医師の診断／手当てを受けること。汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと／取り除くこと。即座に2%の酢酸水で充分洗浄し、ぬるぬるする感じがなくなるまで多量の水で洗浄する。
眼に入った場合:	水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
飲み込んだ場合:	口をすすぐこと。気分が悪いときは医師に連絡すること。直ちに医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

適切な（および不適切な）消火剤

適切な消火剤: 粉末消火薬剤、泡消火薬剤、二酸化炭素、砂

使ってはならない消火剤: データなし

化学物質に起因する
特定の危険有害性: 火災時に刺激性もしくは有毒なガスを放出する。

消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置

特有の消火方法: 火元への燃焼源を断ち、適切な消火剤を使用して消火する。消火作業は、可能な限り風上から行う。消火のための放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないよう適切な措置を行う。

消防士のための特別な保護具: 消火作業では、適切な保護具（手袋、眼鏡、マスク等）を着用する。燃焼ガスには、一酸化炭素等の他、窒素酸化物系のガス等の有毒ガスが含まれるので、消火作業の際には、煙を吸入しないように注意する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置: 作業には、必ず保護具（手袋・眼鏡）を着用する。多量の場合、人を安全に待避させる。必要に応じた換気を確保する。

封じ込めと洗浄の方法
および材料: 少量の場合、吸着剤（おがくず・土・砂・ウエス等）で吸着させ取り除いた後、残りをウエス、雑巾等でよく拭き取る。多量の場合、盛り土で囲って流出を防止し、安全な場所に導いてから処理する。

環境に対する注意事項: 環境への放出を避けること。

二次災害の防止策: 付近の着火源となるものを速やかに除くとともに消火剤を準備する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策
(局所排気、全体換気等): 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。適切な排気換気装置を使用する。

安全取扱注意事項: 火気注意。 眼との接触を避けること。 適切な排気換気装置を使用する。 取扱い後はよく洗うこと。適切な保護具を着用すること。 この製品を使用するときは飲食および喫煙をしない。 酸との接触を避ける。

接触回避: データなし

衛生対策: データなし

保管

安全な保管条件: 容器を密閉しておくこと。 換気の良い場所で保管すること。 火気注意。 窒素シールをして保管する。酸性物質と一緒に保管しない。

安全な容器包装材料: データなし

貯蔵温度: データなし

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度等

暴露限界値

製品: 知見なし。

個人用保護措置

眼/顔面の保護具: 安全ゴーグル

手の保護具: 素材: ゴム保護手袋

皮膚及び身体の保護具: 長袖作業衣

呼吸用保護具: 状況に応じ着用

衛生対策: データなし

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

外観

物理状態: 液体
形状: 液体
色: 無色透明
臭い: アミン臭
臭いの閾値: データなし
凝固点: 41 ° F/5 ° C
沸点: > 104 ° F/40 ° C
可燃性: データなし
燃焼又は爆発限界の上限/下限

爆発限界－上限: データなし

爆発限界－下限: データなし

引火点: 388 ° F/198 ° C (クリーブランド開放式測定器)

自然発火点: データなし

分解温度: データなし

pH: 8.5 (1%懸濁液 (エタノール/水 = 1/1))

粘度 (粘性率)

粘性率: データなし

動粘性率: データなし

浮遊時間: データなし

溶解度

溶解度 (水): 水に不溶

溶解度 (その他): ほとんどの有機溶剤に溶解

n-オクタノール／水分分配係数: データなし

蒸気圧: データなし

比重: データなし

密度: データなし

相対ガス密度: データなし

粒子特性

粒度分布: データなし

10. 安定性及び反応性

反応性:	データなし
化学的安定性:	データなし
危険有害反応可能性:	自己反応性はない。酸と反応する。
避けるべき条件:	データなし
混触危険物質:	データなし
危険有害な分解生成物:	データなし

11. 有害性情報

急性毒性（可能性のある全ての暴露経路をリストアップする）

経口

製品: 混合物の急性毒性推定値: 500 mg/kg

経皮

製品: データ不足のため分類できない。

吸入した場合

製品: 粉じん、ミストおよびヒューム: データ不足のため分類できない。
蒸気: データなし
成分について利用可能なデータに基づき区分に該当しない。

皮膚腐食性／刺激性

製品: データなし

成分:

N, N-ジラウリル-N
-メチルアミン 区分 2: (42)

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

製品: データなし

成分:

N, N-ジラウリル-N
-メチルアミン 区分 1: (42)

呼吸器感作性又は皮膚感作性

製品: 皮膚: データ不足のため分類できない。
呼吸器: データ不足のため分類できない。

製品名:
 ファーミン M2-2095

発がん性
 製品: データ不足のため分類できない。

IARC:
 発癌性成分は確認されておりません。

NTP:
 発癌性成分は確認されておりません。

日本産業衛生学会:
 発癌性成分は確認されておりません。

EU
 発癌性成分は確認されておりません。

生殖細胞変異原性

インビトロ (in vitro)
 製品: データ不足のため分類できない。

インビボ (in vivo)
 製品: データ不足のため分類できない。

生殖毒性
 製品: データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)
 製品: データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)
 製品: データ不足のため分類できない。

誤えん有害性
 製品: データ不足のため分類できない。

その他の影響: データなし

12. 環境影響情報

生態毒性:

水生環境有害性 短期 (急性)

魚類
 製品: データなし

製品名:
 ファーミン M2-2095

水生無脊椎動物 製品:	データなし
水生植物毒性 製品:	データなし
成分: N, N-ジラウリル-N -メチルアミン	区分 1: (90)
水生環境有害性 長期 (慢性)	
魚類 製品:	データ不足のため分類できない。
水生無脊椎動物 製品:	データ不足のため分類できない。
水生植物毒性 製品:	データなし
残留性・分解性	
生分解性 製品:	データなし
BOD/COD比 製品:	データなし
生態蓄積性	
生物濃縮係数 (BCF) 製品:	データなし
n-オクタノール/水分配係数 (log Kow) 製品:	データなし
土壤中の移動性:	データなし
オゾン層への有害性:	データなし
その他の情報:	データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物: ”取り扱い及び保管上の注意”の章を参照。適切な焼却炉で焼却処理するか、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理する。燃焼処理を行う場合、燃焼時、一酸化炭素、窒素酸化物系ガス等発生するので、少量ずつ焼却処分する。

汚染容器及び包装: データなし

14. 輸送上の注意

国際規則

IMDG

国連番号:	UN 3082
UN 正式輸送品目名:	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, LIQUID, N.O.S. (N-methyldidodecylamine)
輸送危険有害性クラス	
クラス(Class):	9
ラベル(Label):	9
EmS No.:	F-A, S-F
容器等級:	III
少量危険物	5.00L

微量危険物	E1
環境有害性:	該当
海洋汚染物質:	該当
使用者のための特別な予防措置:	該当せず。

IATA

国連番号:	UN 3082
UN 正式輸送品目名:	Environmentally hazardous substance, liquid, n.o.s. (N-methyldidodecylamine)
輸送危険有害性クラス:	
クラス(Class):	9
ラベル(Label):	9MI (その他)
容器等級:	III
微量危険物	E1
環境有害性:	該当
海洋汚染物質:	該当せず
使用者のための特別な予防措置:	該当せず。
その他の情報	
旅客および貨物輸送機:	許可されている。 964
貨物専用航空機に限る:	許可されている。 964

UN 正式輸送品目名 (JP): 環境有害物質(液体)(N-methyldidodecylamine)

国内規制

国内規制: 国内法に従う。

応急措置指針番号 171

15. 適用法令

化学物質排出把握管理促進法
規制されない

労働安全衛生法
規制されない

毒物及び劇物取締法
規制されない

火薬類取締法:
規制されない

高圧ガス保安法:
規制されない

消防法:
第4類: 引火性液体, 第三石油類, 非水溶性液体, 指定数量 (2000 リットル)
危険等級 III

化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律
規制されない

船舶安全法・危規則:
危規則第3条危険物告示別表第1有害性物質

航空法・施行規則:
施行規則第194条危険物告示その他の有害物件

海洋汚染防止法:
施行規則第30条の2の3、国土交通省告示・個品運送

輸出貿易管理令
規制されない

登録状況:	
TSCA:	On or in compliance with the inventory
DSL:	Not in compliance with the inventory
AICS:	On or in compliance with the inventory
KECI (KR):	Not in compliance with the inventory
ENCS (JP):	On or in compliance with the inventory
ISHL (JP):	On or in compliance with the inventory
PICCS (PH):	Not in compliance with the inventory
IECSC:	Not in compliance with the inventory
REACH (EU):	Contact us for information
TCSI:	On or in compliance with the inventory

16. その他の情報

免責条項:

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分に保証するものではありません。すべての化学品には未知の有害性が有り得るため、取扱いには細心の注意が必要です。御使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定下さるようお願いいたします。また、特別な取扱いをする場合には、新たに用途・用法に適した安全対策を実施の上で御使用ください。当安全データシートは、日本国内法規を基準に作成したものです。貴社が、弊社当該製品をそのまま、あるいは弊社当該製品を配合し、米国へ輸出する際には、事前に弊社担当者へご連絡をお願いいたします。

香料製品の場合は、香粧品原料として通常の使用ではIFRAスタンダードに適合しています。詳細については供給者に問い合わせして下さい。

引用文献:

- ・ GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル，作業場内の表示及び安全データシート（SDS）（JIS Z 7253：2019）
- ・ 国際化学物質安全性カード（ICSC）コンパイラズガイド 日本語版国立衛生試験所化学物質情報部編、化学工業日報社、1994年
- ・ GHS対応ガイドライン ラベル及び表示・安全データシート作成指針、（社）日本化学工業協会、2019
- （42）：界面活性剤の分類とラベリング（CESIO）
- （90）：The European Oleochemicals And Allied Products Group（APAG）Position on Key Issues